

# 日産車体株式会社

2014年3月10日

## 日産車体、新本館の竣工式を実施

### ～湘南地区の再編を完了～

日産車体株式会社（本社：神奈川県平塚市 社長：渡辺義章）は、同日、同社湘南工場第2地区に建設中であった新本館の竣工式を実施した。

竣工式には、落合克宏平塚市長をはじめ多数の来賓、施工関係者等が列席し、行われた。その後の直会で、日産車体の渡辺社長は「今後も、再編を完了した湘南工場の競争力を存分に活かしながら、平塚で事業を継続し、引き続き、地元に貢献して参ります。」と語った。

今回竣工した4階建ての新本館は、現在湘南工場第1地区に所在する本社機能や生産技術部門・管理部門の各部署が、今月末までに移転する。

なお、新本館の屋上は、大津波警報発表時の避難場所として地域住民にも開放する施設としており、平塚市から「津波避難ビル」の指定を受けた。

同社では、2007年2月に、日産車体九州株式会社の新工場の新設ならびに湘南工場第1地区の閉鎖を決定、2010年1月に日産車体九州の新工場が稼働開始して以来、湘南地区の再編を進めてきた。

2012年2月には、同工場第1地区での車両生産を、そして2012年12月には、第4地区での車両生産を終了した。これにより、全ての車両生産を同工場第2地区に集約し、2013年1月からは、新生湘南工場として、その特徴である多車種混流生産とフレキシブルな生産体制を活かして、商用車やSUVを中心に、再スタートしている。

湘南工場第1地区の土地活用については、2012年3月から平塚市と「工業系・商業系・住居系・医療福祉系・公共公益系の各機能のバランスの取れた複合的な土地利用を目指す土地活用基本案」に関する協議を開始した。2013年1月には、事前協議の結果を踏まえ、平塚市に、「土地利用方針の策定」、「用途地域の変更」、「地区計画の決定」等を盛り込んだ「都市計画提案書」を提出した。

現在は、平塚市庁内での審査を行っており、今後は、都市計画決定等手続きへと進む予定である。

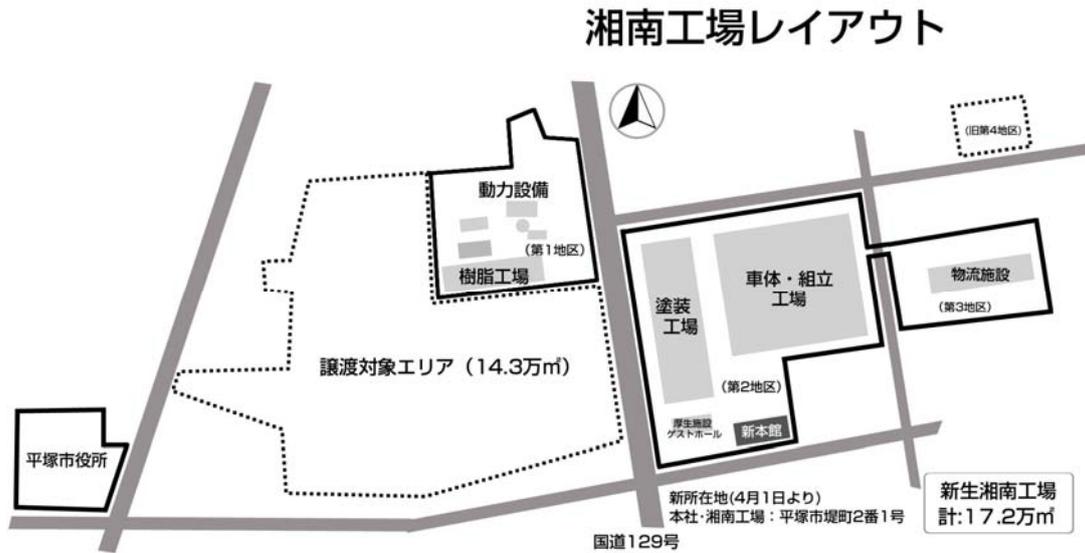
また、昨年7月には、同工場第1地区のうち、日産車体が樹脂工場等を残置するエリアを除いた土地を、三井不動産株式会社に売却することを決定、昨年秋から、順次建屋の解体を開始しており、今月からは、土壌改良工事も開始、都市計画の決定を前提に、2015年3月に、土地の引渡しを予定している。

なお、湘南工場第4地区についても、昨年11月に株式会社トノックスに売却した。今回の新本館竣工に伴い、第1地区所在の従業員は、今月末までに、新本館を始め、

湘南工場内の事務所、テクノセンター（平塚市大神）に、移転を完了し、車両生産体制の集約を含めた湘南地区の再編は完了する。

これら湘南地区の再編が完了したことで、今後、日産車体は、平塚での事業の継続・強化と、新生湘南工場でのさらなる競争力向上を図っていく。

以上



[問い合わせ先]

日産車体株

電話0463(21)8001

URL:<http://www.nissan-shatai.co.jp>